

金沢の中心から、まちを育てる勉強会「カナザワまちハブ」



07



Yutaka Amano

第7回
講師

2023年 12月5日(火)
18:30 ~ 20:30 入場無料

会場 金沢学生のまち市民交流館 交流ホール

これからのまちなかにとって必要なことは何か?金沢のまちなかで活動するプレイヤーの視点から、まちを元気にするテーマを見つけ、その道のプロフェッショナルに触れ、自分たちの実践につなげていくための勉強会。それが「カナザワまちハブ」。第7回の舞台は“愛知県岡崎市の乙川”。NPO法人岡崎まち育てセンター・りたで事業企画マネージャーを務める天野裕さんをお招きし、『乙川の「かわまちづくり」から学ぶ、まちなかと犀川のしあわせな関係』をテーマに、乙川リバーフロント地区「かわまちづくり」計画や取組内容について、お話しいただきます。来年には犀川大橋が竣工100周年を迎えるにあたり、乙川のかわまちづくりから学びを得ながら、天野さんと参加者の皆様で“まちなかと乙川、そして、犀川のしあわせな関係”について語らしましょう。

乙川の
「かわまちづくり」から学ぶ、
まちなかと犀川の
しあわせな関係

NPO法人岡崎まち育てセンター・りた
事業企画マネージャー

天野裕氏



金沢片町まちづくり会議

■ 開会あいさつ

■ 講演

乙川の 「かわまちづくり」から学ぶ、 まちなかと犀川の しあわせな関係

天野 裕 氏 [NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた]

● ファシリテーター

丸谷耕太 [金沢大学 融合研究域 融合科学系 准教授]

■ 質疑応答・意見交換

■ 閉会あいさつ



● 天野 裕 氏プロフィール

あまの・ゆたか。1976年岡崎市生まれ。コミュニティ・デザイナー。博士(工学)。東京10年、メキシコ3年を経て、2007年岡崎にリターン。路地、水辺、銭湯、石積みなど、絶滅が危惧される暮らしの舞台の継承と潜在的な価値の発掘をテーマに、松應寺横丁、乙川のかわまちづくり、QURUWAのまちづくり等に携わる。

[受賞]

- 国土交通省「第1回まちづくり法人「まちづくりの担い手サポート部門」国土交通大臣賞」(2012)
※りたとして
- 日本建築士会連合会「第8回まちづくり賞」(2014)
※松應寺横丁まちづくり協議会として
- 都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門優秀賞」(2017)
※岡崎市制100周年「岡崎百景」
- 国土交通省「手づくり郷土賞「グランプリ(一般部門)」」(2019)
※おとがワ活用実行委員会として
- ミズベリング
「川ろうぜ、街がえようぜ大賞「大賞・オーディエンス賞」」(2019)
※Makita boysとして
- グッドデザイン金賞
「自治会の連合体が支える公民連携まちづくりQURUWA戦略」(2023)
※QURUWA7町・広域連合会として

論文：メキシコシティの都市空間編成と
居住運動に関する研究(学位論文)
著書：土木の仕事ガイドブック(分担)



参加申込書

FAXまたはE-mailで
お申し込みください

FAX

076-232-0632

※下記に必要事項をご記入の上、そのまま送信してください

E-mail

info@e-katamachi.com

※下記の内容を送信してください

金沢片町まちづくり会議とは？

+++++
片町地区及びその周辺に住まいする人、働く人、活動する人を中心に、片町地区等に関する各種団体や行政等が連携し、元気で活気あふれるまちづくりと災害に強く安全で安心なまちづくりを推進することにより、手と手を取り合い、多様な交流を通して心に残るまちの再生を目指して設立された団体です。組織は、6商店街(会)、5町会、石川県社交料飲生活衛生同業組合で構成され、金沢まちづくり学生会議、コンサルタント、金沢市等と連携を図っています。



駐車場はありませんので、最寄りのコインパーキングをご利用いただくか、公共交通機関等でご来場ください。

氏名	参加人数	名
お住まいの市町または所属		
メールアドレス		
電話番号		

※ご記入いただいた個人情報は、当講演会以外で使用することはありません。
※お申し込み後のご案内はいたしませんので、当日会場へそのままお越しください。
※定員に達し、ご来場をお断りする場合は、ご連絡いたします。

お問合せ

金沢片町まちづくり会議事務局

片町商店街振興組合内

TEL 076-232-0630